

そらこめ通信 No.92 2018年 4月27日発行

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

北海道にもようやく桜前線がやって来ました。今年は、例年に比べると桜の開花が少し早いようですが、冬が寒かった分、春の陽気が何とも心地よく、和やかな気分させてくれます。

さて、農場の方ですが今が1年のうちで最も忙しい時期を迎えています。3月初旬に大型重機による苗場の除雪が始まると、引き続き十数棟ある育苗ハウスの組み立てやら、ほ場での融雪剤散布、それら作業と同時進行で種まきの準備と、気が付けばアツという間に4月中旬になっております。この時点でも、ほ場にはまだ50センチ近く残雪がある状況で、肝心の種まき開始日をいつにするか大いに悩み、結果的に昨年より4日遅い4月18日から種まきを始めました。この「そらこめ通信」の発行日(4/27)には種まきが終わる予定ですが、そのあと田起こしや代かき、そして田植えと作業は続きます。春の作業が全て終わるのは5月末頃になりそうです。

苗には、ほ場に移植(田植え)する際の「最適期」があり、適期を外すと丈夫な稲に育たない可能性が出てきます。種まきが終われば、苗はハウスの中でどんどん成長するため、丈夫な稲を育てるためには、移植適期を迎えるまでに代かきを終わることが必須の条件になります。中山間地にある農場なので融雪状況もほ場によってまちまちです。場所によっては、融雪が長引くことも考えられ、田起こしに影響があるかも知れませんが、何とか乗り切りたいと考えております。



育苗ハウスの組み立て(3月16日)



融雪剤の散布(3月16日)



ビニールシートをかける作業(3月20日)



ハウスが完成しました(3月24日)



灌水パイプの取付け(3月26日)



ほ場の積雪深は143cm(3月26日)



種まき用の土作り(3月26日)



種もみの計量(4月4日)



タリア(レッドストーン)の定植(4月4日)



育苗ポットの確認(4月6日)



ハウス内の耕起作業(4月9日)



積雪深は48cmになりました(4月15日)



種まき開始(4月18日)



種もみが入ったポットのようす(4月18日)



ハウスの中にポットを並べる(4月18日)



「ななつぼし」の芽が出てきました(4月23日)



奥のほ場にはまだ残雪があります(4月25日)

育苗ハウスのようす(4月25日)

沼田町には町内で産出したうるち米「きらら397」を原料にした地酒「雪なごり」があります。旭川の高砂酒造で作られて、沼田町の施設にある雪蔵で低温熟成されたお酒です。口当たりの良さと結構評判のお酒ですが、今年からうるち米ではなく地元産酒米「彗星」を原料にした「雪なごり瑞華」として新たに発売されました。冷酒だけでなく、燗でもいけるお酒とのことで、先日町内で購入しました。味見をするのが今から愉しみでたまりません(笑)。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 facebookによるブログ「生産日誌」更新中